

ウィメンズ・セーリング委員会 報告書

戸張 房子

1. 2008 オリンピック艇種

ダブルス男子・女子（今回からダブルハンドではなくダブルスと呼ぶ）は 470 とスナイプの投票となったが、ウィメンズ委員会では全員一致で 470 が選ばれた。シングルス女子（シングルハンドではなくシングルス）はヨーロッパ級、レーザーラジアルの対決であったが、ヨーロッパ支持が 2 名、レーザーラジアル支持が 6 名、棄権 1 名となった。

ウィンドサーフィンは IMCO の継続を強く願う国もあったが、ISAF がハイブリッド艇種のトライアルを今年 2 回も行っているメンツがあり、ヘンダーソン会長が委員会の途中で入ってきて「IMCO に戻ることは絶対にしない」と断言したこともあって、ニールプライド RS:X が選ばれた。アジアの平均的女性にとってはやや大きすぎる艇である。

2. 女子キールボートのマッチレース

2008 年オリンピックの女子キールボートをマッチレースにして欲しいというサブミッションが討議されたが、賛成なしで否決された。2012 年については、まだ討議の段階ではないことからやはり否決された。

3. オープン種目について

ダブルス、シングルのオープン種目に実際は女性が 1 名も出場していないことから、今後はそのカテゴリーについて検討してもらうようにイベント委員会に働きかけることになった。

ウィメンズ・フォーラム

1. 女性委員代表のカウンシル・メンバー

ISAF 全体の女性委員から代表者 1 名をカウンシルに送ることになっているが、新しい委員が決まっていないため、各委員会メンバーが決定してから Email で立候補者を募り、Email 投票で決めることになった。

2. ISAF クラス委員会、レース・オフィシャルズ委員会

女性のいない委員会に最低 1 名は女性を入れるために、上記委員会への女性代表者もカウンシル同様に Email で決めることになった。

3. 女性のレース・オフィシャル

IJ、IU、IRO、IM に女性が少ない。

4. 新メンバーのアテンド・システム

2005 年から新しく委員となった女性が、ISAF に早くなじめるようにするために、継続して委員となった女性を割り当て、期間中一緒に過ごすようなアテンド・システムを取り入れることになった。

ISAFクラス委員会

(ISAF クラスとなったクラス協会の代表者が集まる委員会)

1. 来年度から ISAF の委員会構成が変わり、テクニカル委員会の中でクラス・ルール変更ができることとなった (今まではカOUNシルの承認)。

2. カOUNシル代表者

ISAF クラス委員会から代表者 1 名をカOUNシルに送ることになっているが、引き続き委員長をつとめるジェフ・マーティン (レーザー級) が選ばれた。

以 上